

**louis poulsen**

AN ALL TIME  
FAVOURITE INCOMPATIBLE  
NEW COLOURS



# 時代を超えて愛される PH 5シリーズに互いに異なる 4つの新色が登場

2024年秋、ルイスポールセンは、デンマークの建築家でありデザイナーのポール・ヘニングセンが、照明分野でパイオニアとして切り開いてきた功績を称えて、《PH 5》および《PH 5 ミニ》の4つの新色を発表します。〈モノクローム・バーガンディー〉、〈モノクローム・ダスティ・インディゴ〉、〈モノクローム・ペール・ブラッシュ〉、そして〈モノクローム・ペール・ピューター〉と名づけた新色は、鮮やかで特徴的な配色で、良質な光を提供しつつ、インテリアのスタイルを問わず空間を美しく彩ります。



ポール・ヘニングセンがデザインした《PH 5》は、長年にわたり世界中で愛され、その眩しさのない心地よい光でインテリアやテーブルを囲む人々を引き立てています。60年以上前に誕生したにもかかわらず、現在もなお、食卓に最適なペンダントライトとして高く評価されています。

「光の巨匠」として知られるポール・ヘニングセンは、1958年に《PH 5》を開発しました。当時、白熱電球の形状やサイズが頻繁に変わる中、どのような光源でも心地よく、眩しさのない光を提供できるランプを作り上げました。その後、《PH 5》を基に、直径30cmの上部シェードを持つ《PH 5 ミニ》が開発され、小さな空間や《PH 5》とのクリエイティブな組み合わせに最適な照明となりました。



ヘニングセンが考案した《PH 5》は、彼の有名な3枚シェードシステムに基づいており、柔らかく心地よい、眩しさのない光を提供します。これにより、ダイニングテーブルのペンダントライトとしてだけでなく、リビングルームやキッチン、さらには子供部屋や寝室でも優れた照明を提供します。

ヘニングセンは、《PH 5》で使用する電球の光の演色性の向上にも取り組みました。光のスペクトルのうち、目の感度が最も低くなる赤色と青色の光を補完し、目の感度が最も高いスペクトル中央の黄色から緑にかけての光を抑えるため、赤と青の小さなシェードを加えたのです。現在は、光源も進化を遂げ、ヘニングセンの時代のように、赤と青の小さなシェードによる光色の調整が必要はなくなりましたが、《PH 5》は進化を続け、色彩において最も先進的な内部の品質向上を目指しています。

**新色について：**

2つの明るい新色、モノクローム・パール・ピューターとモノクローム・パール・ブラッシュは、スカンジナビアスタイルやミニマルなインテリアデザインにぴったりで、カラフルなインテリアや白を基調とした明るい空間にも穏やかで落ち着いたアクセントを与えます。一方、モノクローム・バーガンディーとモノクローム・ダスティー・インディゴといった新しい濃色は、モノクローム・ブラックの《PH 5》とも優雅に調和します。モノクローム・バーガンディーは温かみを加え、ブラックチェリーやザクロ、イチジク、家庭の温もりから着想を得たリッチで深みのある赤の淡いトーンが特徴的です。モノクローム・ダスティー・インディゴは、ブラックの柔らかい代替色として、チャコールグレーに青の色味を加えた美しい濃いインディゴカラーで、白との組み合わせでクラシックな雰囲気演出し、インテリアにシックで落ち着いたトーンを提供します。



**PH 5**

Design: ポール・ヘニングセン  
 ランプ: E26 LED電球(白熱電球100W相当)  
 材質/仕上: アルミ/マット塗装。  
 シェード内面は白色塗装、リフレクター付。  
 サイズ: Ø500mm H267mm 全長 1910mm 1.8kg  
 ¥159,500(税抜価格¥145,000)



モノクローム・バーガンディー    モノクローム・ダスティー・インディゴ    モノクローム・パール・ブラッシュ    モノクローム・パール・ピューター



**PH 5 ミニ**

Design: ポール・ヘニングセン  
 ランプ: E17 LED電球(白熱電球60W相当)  
 材質/仕上: アルミ/マット塗装。  
 シェード内面は白色塗装、リフレクター付。  
 サイズ: Ø300mm H163mm 全長 1820mm 0.8kg  
 ¥116,600(税抜価格¥106,000)



モノクローム・バーガンディー    モノクローム・ダスティー・インディゴ    モノクローム・パール・ブラッシュ    モノクローム・パール・ピューター



Poul Henningsen

### デザイナー ポール・ヘニングセンについて

ポール・ヘニングセンとルイスポールセン社とのコラボレーションは1925年に始まり、1967年に亡くなるまで続きました。

ルイスポールセン社は、今日もヘニングセンの天才の恩恵を受けています。ポール・ヘニングセンがパイオニアとして切り開いてきた照明分野の業績—影と光、グレア、光による色の再現、そしてそれら光の特性を人間の福利に結びつくように利用することは、いまもルイスポールセン社が実践するライティング・セオリーの基礎となっています。光をかたちづくる、というルイスポールセン社のデザインは、1926年にポール・ヘニングセンが完成させた3枚シェードシステムのPHランプが持つ、デザインと光の二重性に遡ることができます。光と影、フォルムと機能、モダンとクラシック。光と製品のクオリティーの高さは、クラフトマンシップと新しいテクノロジーの両立で保たれます。対数螺旋構造を用いてシェードの曲線から均一に配光されるようになり、よりシェードの曲面全体にわたってなだらかな配光を得ることに成功しました。シェード内面が反射する拡散光と合わさって、グレア（眩しさ）と影のコントロールを可能にしました。

### ルイスポールセンについて —Design to Shape Light— 光をかたちづくるデザイン

ルイスポールセンは長年にわたり、単にランプをデザインするだけでなく、屋内そして屋外で人々が心地よいと感じる雰囲気を生み出す光を'かたちづくる'ということを大切にしてきました。機能美を備えたルイスポールセンの製品は、どんなスタイルの空間とも調和を保ち、魅力的で優しい光を発します。1874年に創業したデンマークの照明器具メーカー、ルイスポールセンは、デザインと光の両方を追求した製品を作り続けています。デザインのすべてのディテールが役割を持っており、すべてのデザインは光に始まり、光に終わります。ルイスポールセンは、住宅、建築、ランドスケープのための、屋内と屋外両方の照明ソリューションを世界中で提供しています。光をかたちづくるという哲学のもと、ポール・ヘニングセンをはじめ、アーネ・ヤコブセン、ヴァーナー・バントン、nendo 佐藤オオキ、ルイズ・キャンベルといった、才気あふれるアーキテクトやデザイナーと密接なパートナーシップを組み、デザインと機能美を備えた照明器具を数多くリリースしてきました。ルイスポールセンは世界の照明のトップ・ブランドとして、グローバルな事業を行っています。2023年11月に東京・港区青山に世界初の直営旗艦店「ルイスポールセン東京ストア」をオープン。

最新ニュースやウェブサイト製品情報はルイスポールセン公式ウェブサイトをご覧くださいませ。 [www.louispoulsen.com](http://www.louispoulsen.com)